

第474回11月27日開催  
出席委員(50音順・敬称略)

荒巻 裕	大村 英昭
木下 明美	倉光 弘己
櫻井 美幸	深井 麗雄
森 輝彦	

ラジオ番組

「S」(週刊諸口あきら)

11月18日(月)深夜0時~4時 放送分

\*荒巻委員

パーソナリティーの諸口さんの語り口とリスナーの反応に耳を傾けながら「深夜ラジオは心のパートナー」という言葉が思い浮かんだ。そのコンセプトはずっと大切にしてほしい。この番組が健在であるための条件は、何となく心が落ち着く「諸口節」と親しみを覚えながら聴けるような「曲選び」だと思う。

\*倉光委員

基本的な姿勢に温かさが感じられるのがこの番組の良さだと思う。諸口さんのおしゃべりも多少乱暴で上品さはあまり感じられないが、深夜に聴いていると思わず引き込まれてしまうような魅力がある。今後もいたずらに修正をしないで、たとえほころびが出たとしても今の形を続けて行けば、非常に個性的な番組に仕上がるのではないかな。

\*木下委員

流れてくる曲が50年代、60年代という、時代が大きく変るという予感があったあの時代を彷彿とさせ、思わず聴き入ってしまった。諸口さんの語りも、やんちゃなお兄ちゃんのように親しみやすく、ある一定の層のリスナーは獲得できると思う。ただ深夜帯のパーソナリティーは、男性の方が良いのか女性は向かないのか、それが私にとっての宿題である。

\*深井委員

ラジオはインパクトという点でテレビよりも新聞のような活字メディアに近いのではないかと思った。つまりそれだけやさしく、温かいということである。それは諸口さんのしゃべりにも表れているが、ただ諸口流のあの切り口は、果たして女性に素直に受け入れられているのかどうか。その辺も一考する必要があるのではないかな。

### **\* 櫻井委員**

最初は諸口さんの巻き舌でべらんめえ調のしゃべりの中に入りづらい部分もあったが、視点のやさしさに魅力を感じた。諸口さん自身も肩の力を抜いているせい、4時間という長時間をゆったりした気分で楽しむことができた。選曲も多岐に渡っているのは良いが、中高年以外の世代にも共感を呼ぶような、世代ごとの選曲といったものも考えてほしい。

### **\* 大村副委員長**

諸口さんはサービス精神が旺盛なので、以前の「イブニングレーダー」のパーソナリティー時代は相手役がいたせい、色々とお気を使う場面もあったが、この番組はワンマンショーなので非常に伸び伸びしている。「ラジオ深夜便」とは一味違った「諸口ワールド」を今後も堪能したいと思う。

### **\* 森委員長**

最高の選曲だと思う。体系的なものもなくジャンルもバラバラだが、決してみずみずしさを失っていない曲をよくあれだけ探してこられたものだと感心した。音楽もさることながら、番組全体を聴き終えた時のしっとり感、ホノボノ感は何とも言えなかった。今のデジタル社会の中で、ほっと一息つけるアナログ的なこの番組の今後に大いに期待したい。

### **「JNN系列近畿・中四国合同番組審議会」の報告**

11月7日に山口市で開催された「JNN系列近畿・中四国合同番組審議会」の概要について、毎日放送番組審議会を代表して出席した森委員長と大村副委員長から報告があった。